

平成 30 年 4 月末の特殊詐欺の発生傾向

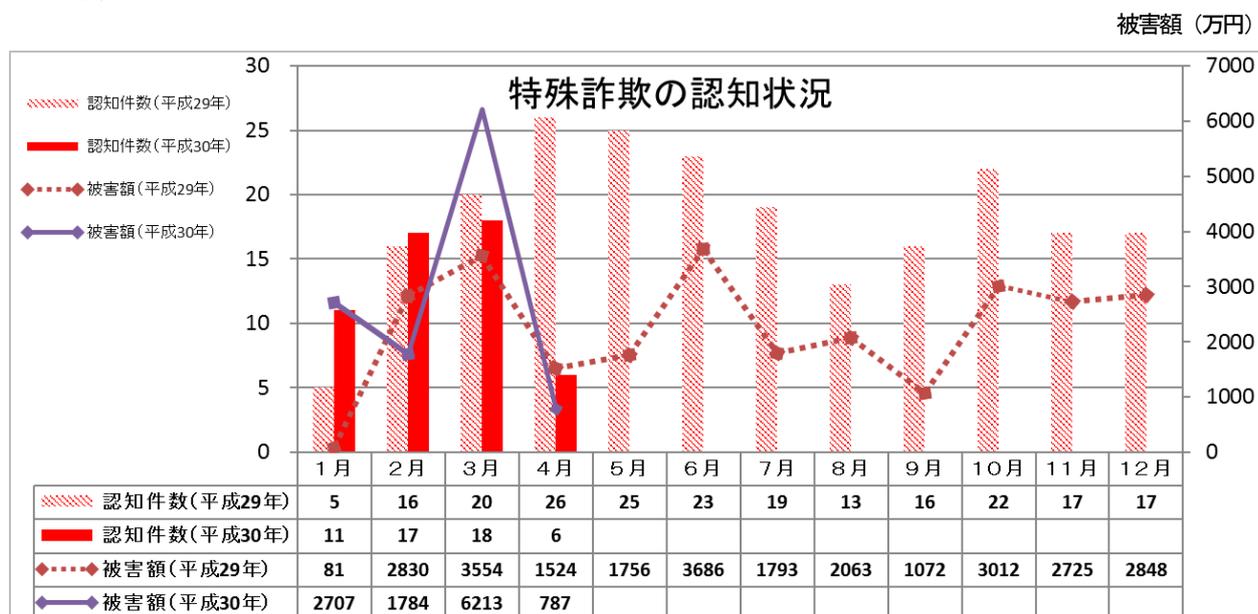
長野県くらし安全・消費生活課

集計期間 H30. 1. 1～H30. 4. 30

(資料提供：長野県警察本部)

1 認知状況

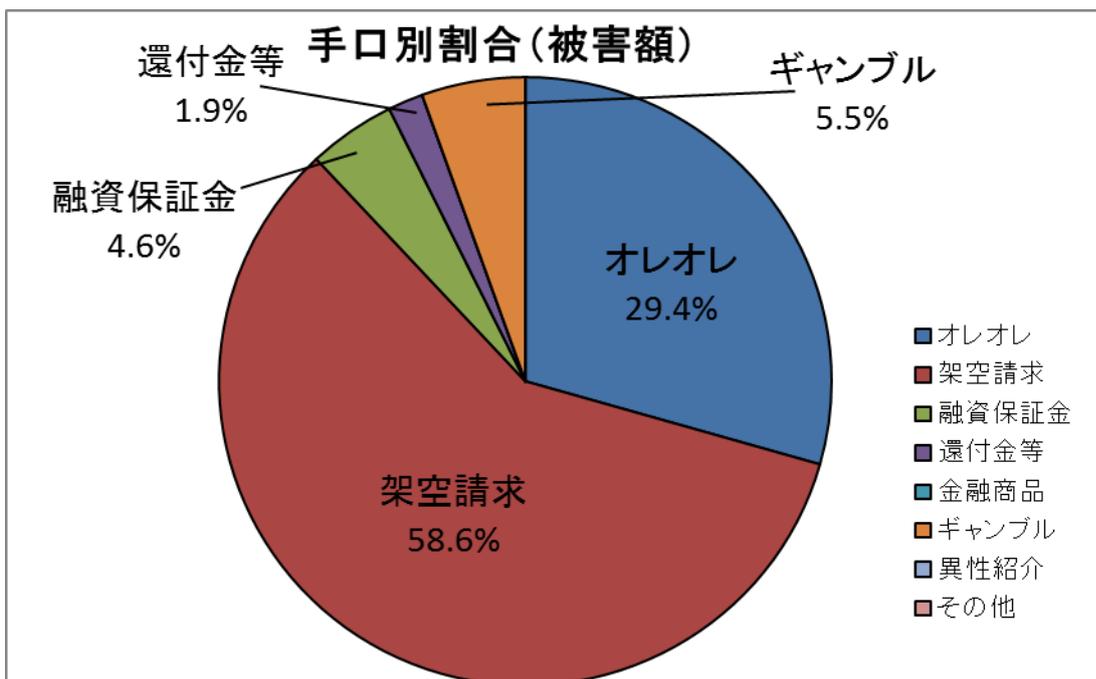
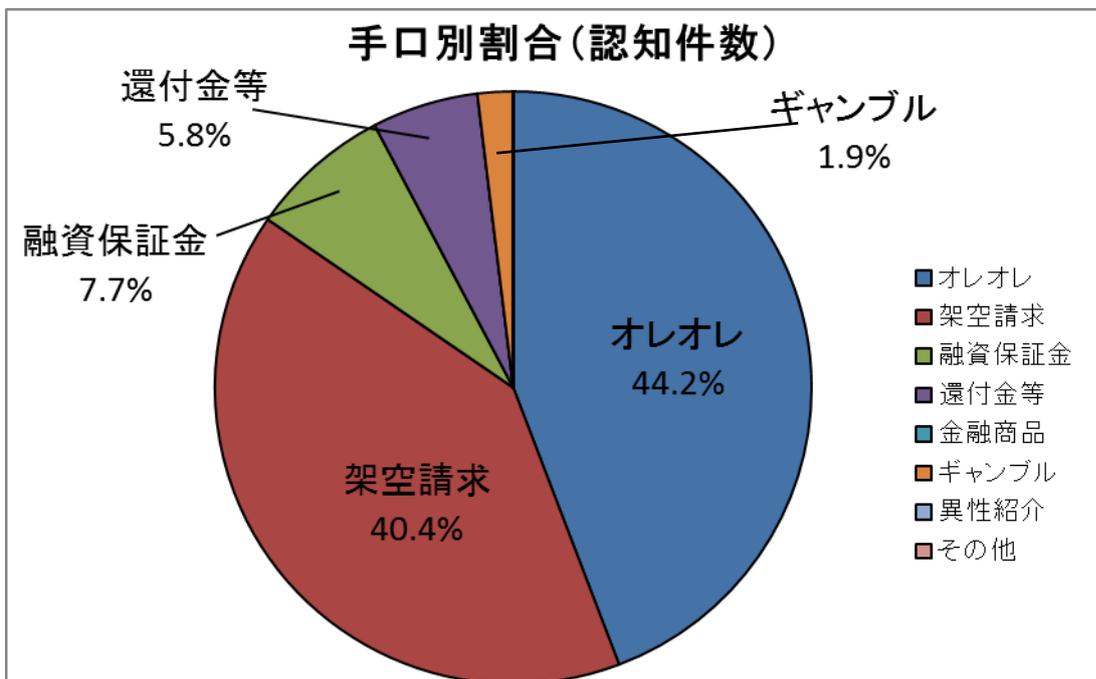
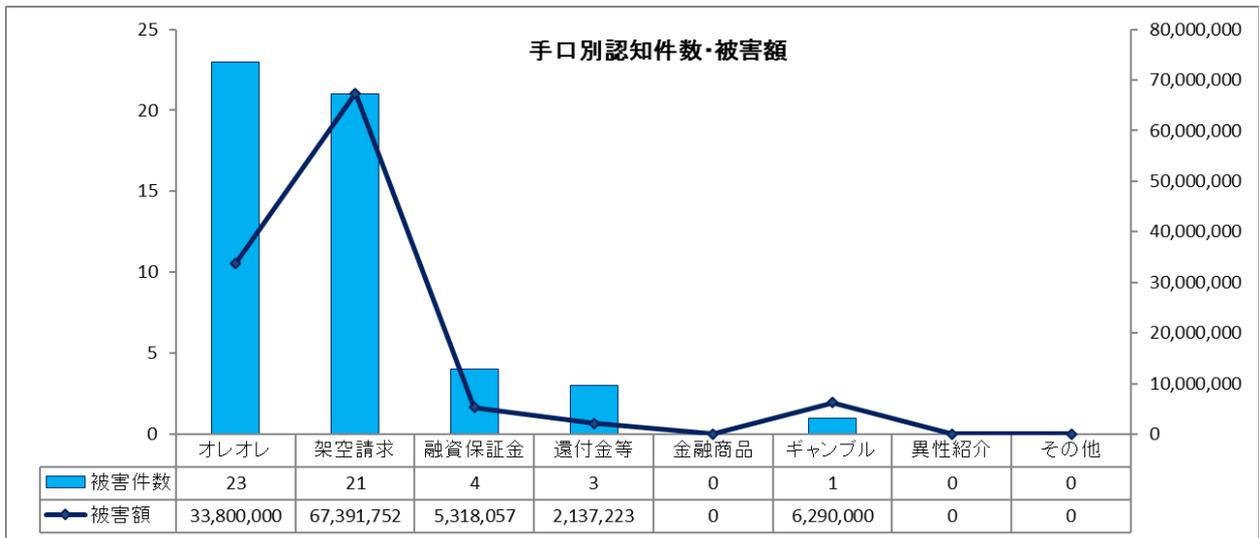
- 認知件数 52 件（前年同期比-15 件、-22.4%）、被害額 1 億 1493 万 7032 円（同+3503 万 3199 円、+43.8%）、1 件あたりの被害額 約 221 万円
- 認知件数のうちオレオレ詐欺が 23 件（同+4 件）、架空請求詐欺が 21 件（同-2 件）、融資保証金詐欺が 4 件（同-3 件）、還付金等詐欺が 3 件（同-12 件）
- オレオレ詐欺、架空請求詐欺 2 つの手口の合計が、認知件数の 84.6%（44 件）を占めている。



被害額の1万円未満は切り捨て

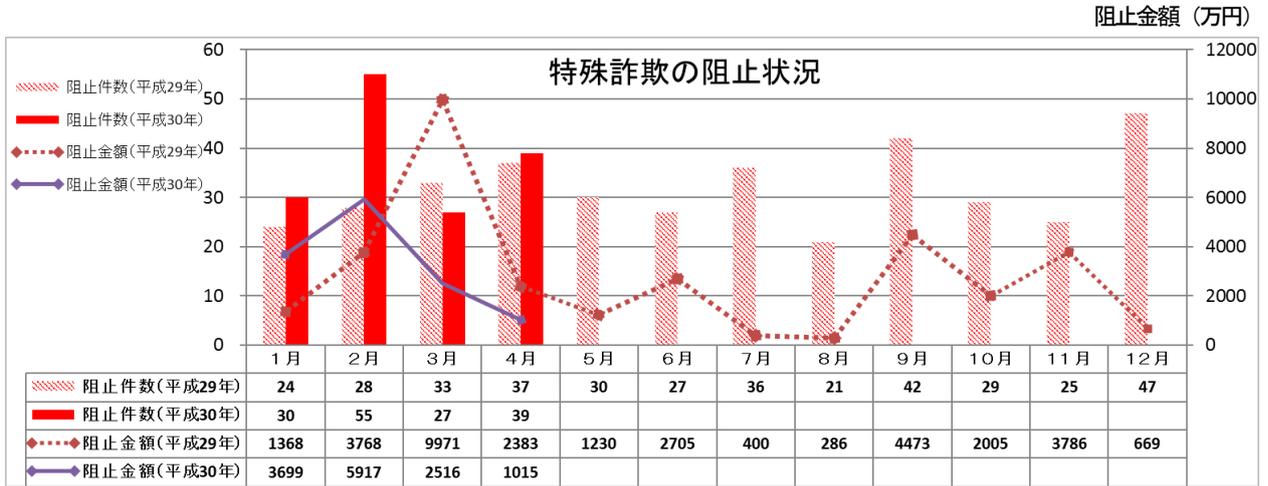
平成 30 年 4 月末 特殊詐欺被害認知件数・被害額 前年同期比（暫定値）

区 分	平成29年中		平成29年4月末		平成30年4月末		前年同期比				
	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	増減率	被害額(円)	増減率	
特殊詐欺 合計	219	269,491,316	67	79,903,833	52	114,937,032	-15	-22.4%	35,033,199	43.8%	
内 訳	オレオレ詐欺	73	109,940,000	19	31,500,000	23	33,800,000	4	21.1%	2,300,000	7.3%
	架空請求詐欺 (支払え詐欺)	90	86,855,829	23	18,044,600	21	67,391,752	-2	-8.7%	49,347,152	273.5%
	融資保証金詐欺 (貸します詐欺)	11	8,700,099	7	4,743,858	4	5,318,057	-3	-42.9%	574,199	12.1%
	還付金等詐欺 (返します詐欺)	39	35,611,388	15	10,978,375	3	2,137,223	-12	-80.0%	-8,841,152	-80.5%
	金融商品等取引名目の詐欺 (もうかります詐欺)	2	12,000,000	1	11,300,000			-1		-11,300,000	
	ギャンブル必勝法情報提供名目の詐欺 (もうかります詐欺)	2	16,327,000	1	3,300,000	1	6,290,000			2,990,000	90.6%
	異性との交際あっせん名目の詐欺 (紹介します詐欺)										
その他	2	57,000	1	37,000			-1		-37,000		



2 阻止状況

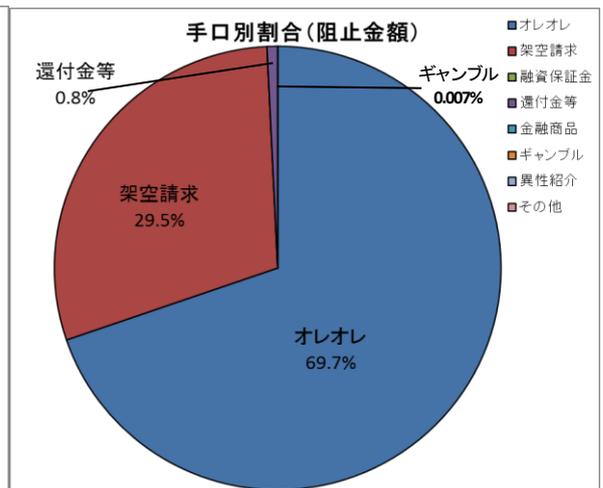
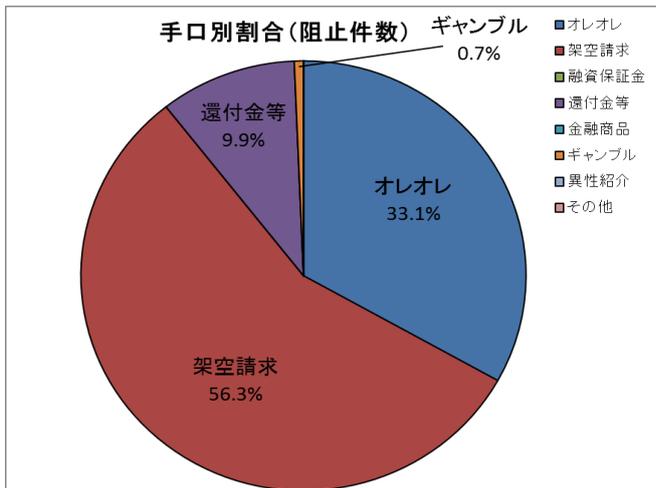
- 阻止件数 151 件 (前年同期比+29 件、+23.8%)、阻止金額 1 億 3148 万 4156 円 (同-4344 万 1069 円、-24.8%)、1 件あたりの阻止金額 約 87 万円
- 阻止件数の 56.3%が架空請求詐欺で 85 件 (同+40 件)、33.1%がオレオレ詐欺で 50 件 (同+13 件)、9.9%が還付金等詐欺で 15 件 (同-21 件)
- 被害阻止者の 39.7%が家族で 60 名、20.5%が金融機関職員で 31 名、15.2%がコンビニ従業員で 23 名



阻止額の1万円未満は切り捨て

平成30年4月末 特殊詐欺被害阻止件数・阻止金額 前年同期比 (暫定値)

区分	平成29年中		平成29年4月末		平成30年4月末		前年同期比				
	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	増減率	阻止金額(円)	増減率	
被害阻止 合計	379	330,513,671	122	174,925,225	151	131,484,156	29	23.8%	-43,441,069	-24.8%	
内	オレオレ詐欺	105	278,996,592	37	151,698,000	50	91,700,000	13	35.1%	-59,998,000	-39.6%
	架空請求詐欺 (支払え詐欺)	131	44,919,902	45	19,519,502	85	38,775,600	40	88.9%	19,256,098	98.7%
	融資保証金詐欺 (貸します詐欺)	4	960,000	2	560,000			-2		-560,000	
	還付金等詐欺 (返します詐欺)	136	4,482,177	36	1,997,723	15	999,056	-21	-58.3%	-998,667	-50.0%
	金融商品等取引名目の詐欺 (もうかります詐欺)	1	1,000,000	1	1,000,000			-1		-1,000,000	
	ギャンブル必勝法情報提供名目の詐欺 (もうかります詐欺)	1	5,000			1	9,500	1		9,500	
	異性との交際あっせん名目の詐欺 (紹介します詐欺)										
その他	1	150,000	1	150,000			-1		-150,000		



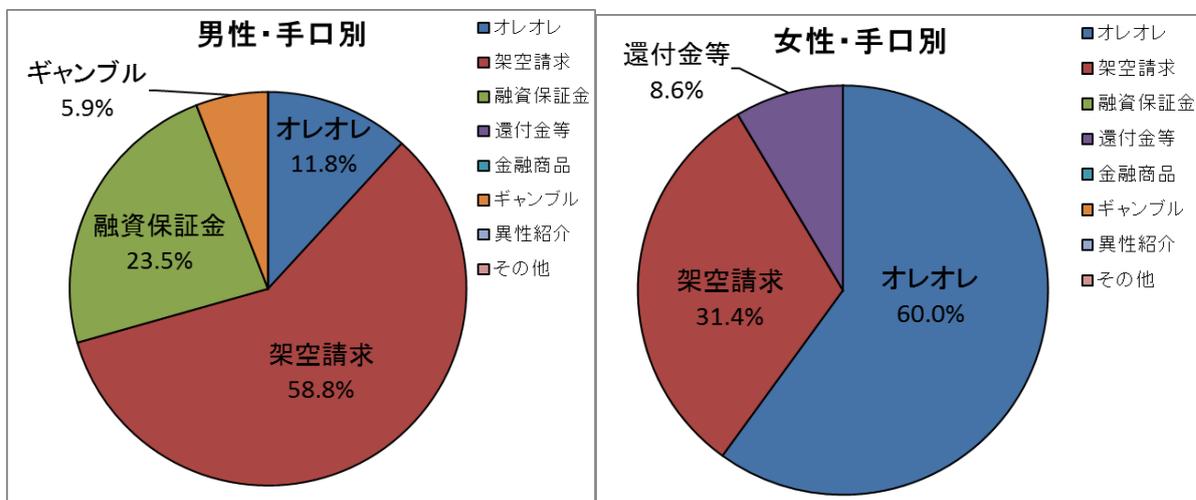
平成30年4月末 特殊詐欺被害阻止者の一覧

被害阻止者(名)	特殊詐欺									阻止金額(円)
		オレオレ	架空請求	融資保証金	還付金等	金融商品等	ギャンブル	異性紹介	その他	
金融機関職員	31	20	7		3		1			68,958,556
コンビニ従業員	23		23							3,551,800
運送業者	1	1								2,500,000
警察官										
家族	60	26	33		1					54,988,800
知人	7	2	5							
一般人										
その他	29	1	17		11					1,485,000

※ その他：県・市町村などの行政職員（20名）、民間会社の社員（7名）、ケアマネージャー（1名）、不詳（1名）

3 被害者の男女別数

- 被害者の32.7%が男性（17名）、67.3%が女性（35名）
- オレオレ詐欺の被害者は、8.7%が男性（2名）、91.3%が女性（21名）
- 架空請求詐欺の被害者は、47.6%が男性（10名）、52.4%が女性（11名）
- 融資保証金詐欺の被害者は、100%が男性（4名）
- 還付金等詐欺の被害者は、100%が女性（3名）



- 男性被害者は、架空請求詐欺が58.8%、融資保証金詐欺が23.5%
- 女性被害者は、オレオレ詐欺が60.0%、架空請求詐欺が31.4%

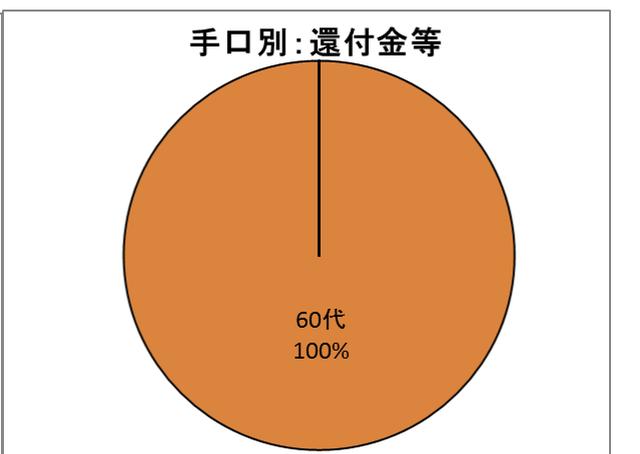
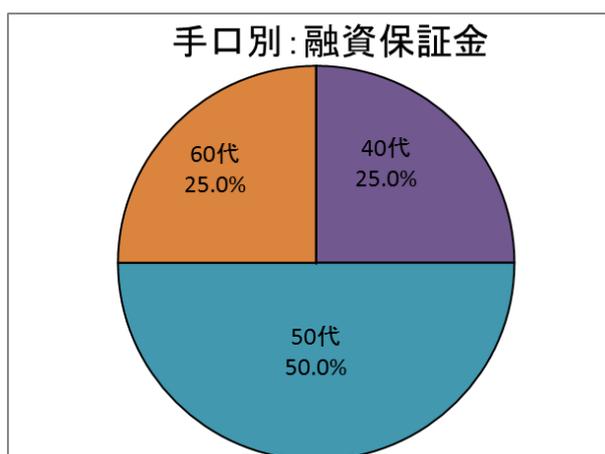
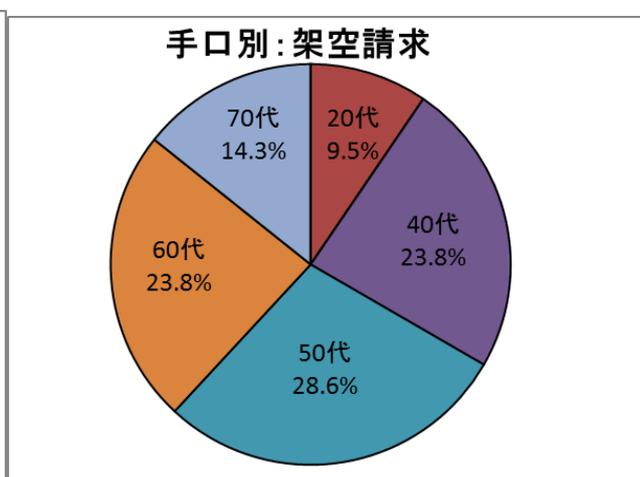
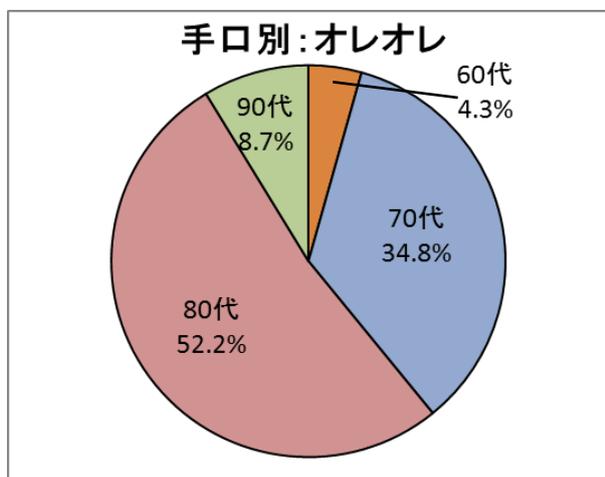
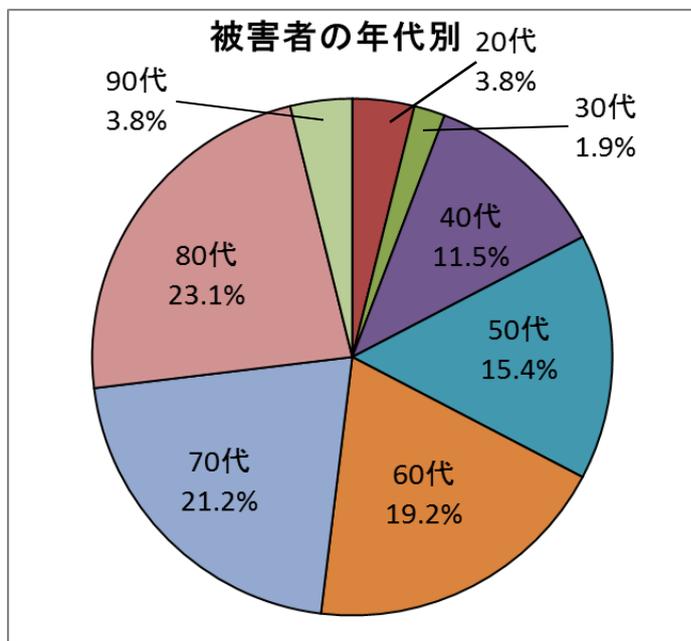
4 被害者の年代別

○ 被害者の67.3%が60歳以上

(内訳：60歳代が19.2%、70歳代が21.2%、80歳代が23.1%、90歳代が3.8%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
合計	0	2	1	6	8	10	11	12	2	52

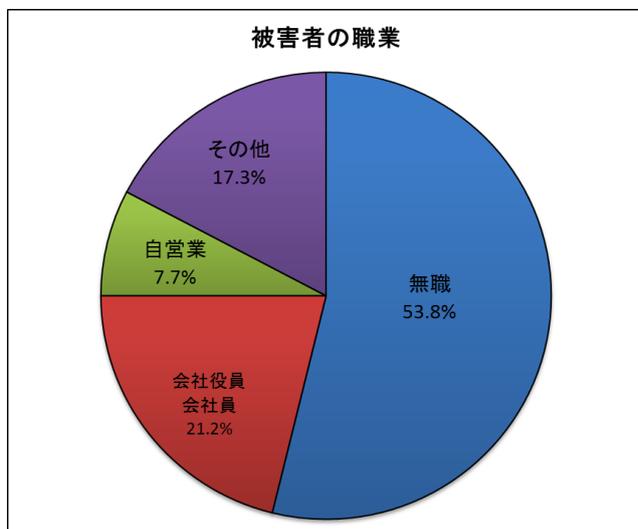
60歳代の内訳は、65歳以上が5人



5 被害者の職業

○ 被害者の53.8% (28名)が無職、21.2% (11名)が会社役員・会社員

無職	会社役員 会社員	自営業	その他	合計
28	11	4	9	52



※ その他は、被害者の勤務先や業種が未聴取等のため、職業が不詳なもの

6 詐取（振込・送金等）方法（のべ95回中）

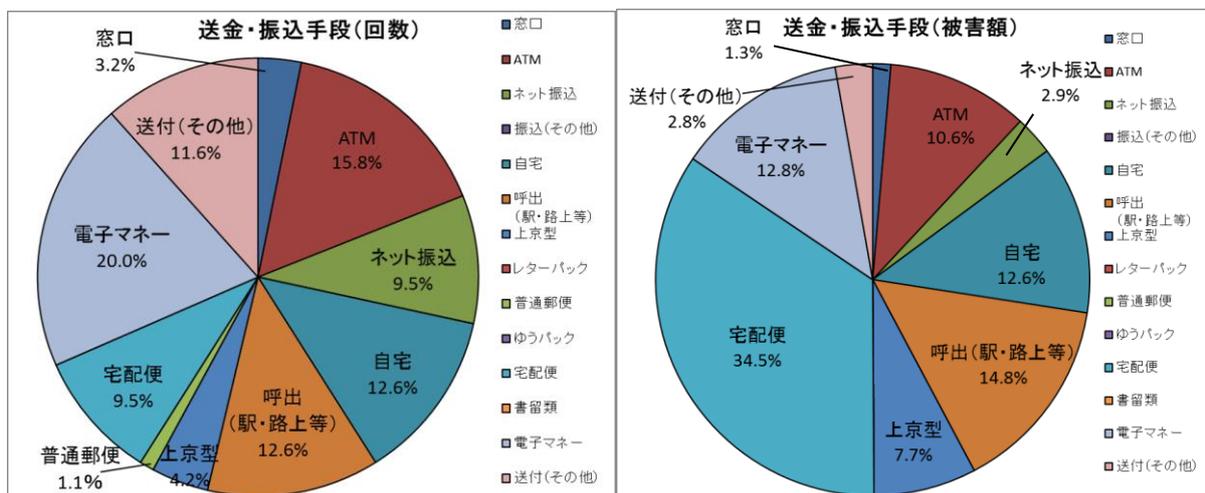
○ 被害現金等の詐取方法は、
振込型が27回（ATMが15.8%）
手交型が28回（呼出（駅・路上等）及び自宅が、それぞれ12.6%）
送付型が40回（電子マネーが20.0%、送付（その他）が11.6%）

	振込型				手交型			送付型					合計		
	窓口	ATM	ネット振込	振込(その他)	自宅	呼出 (駅・路上等)	上京型	レターパック	普通郵便	ゆうパック	宅配便	書留類		電子マネー	送付(その他)
回数	3	15	9		12	12	4		1		9		19	11	95
被害額(円)	1,550,000	12,129,980	3,381,652		14,500,000	17,000,000	8,800,000				39,710,000		14,678,000	3,187,400	114,937,032

※ 振込型（その他）は、振込みの方法が不明なもの

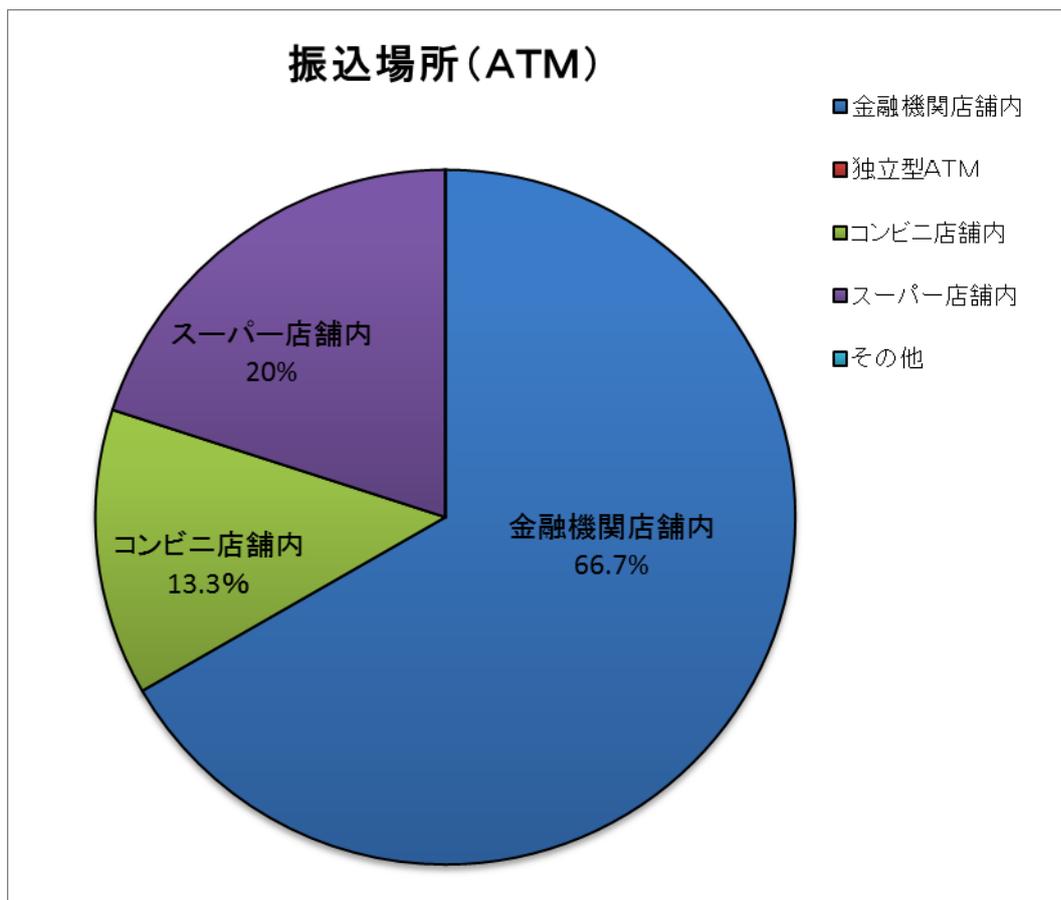
※ 上京型は、被疑者が県外に被害者を呼び出して現金等を詐取すること

※ 送付型（その他）は、コンビニエンスストアでの収納代行決済(11)



【振込場所（ATM）】

振込場所	金融機関店舗内	独立型ATM	コンビニ店舗内	スーパー店舗内	その他	合計
振込回数	10	0	2	3	0	15



※ 独立型ATMは、金融機関が店舗や施設の外に設置しているATM

※ 振込の回数は、のべ回数（一人の被害者が複数回利用）

7 振込先の口座名義（のべ27回）・送金先の宛名（のべ9回）

- 振込先は、26回が個人名義口座
- 送金先は、9回が個人名宛住所

【振込先】

口座名義	会社名	個人名	不明	合計
振込回数	1	26	0	27

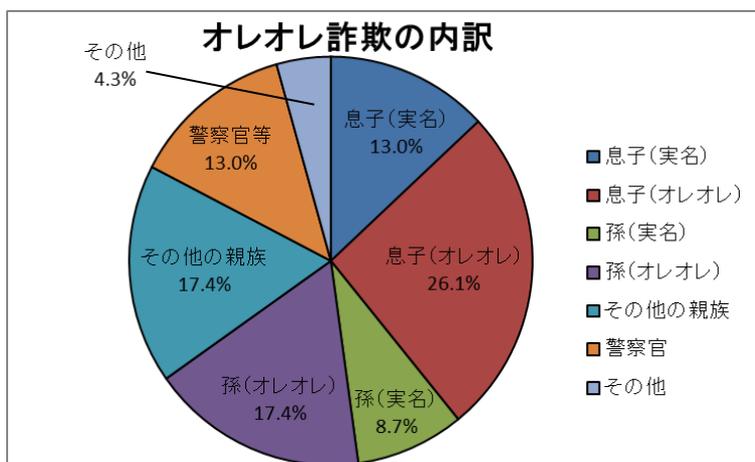
【送金先】

送金先名義	会社名	個人名	不明	合計
送金回数	0	9	0	9

8 手口別特徴

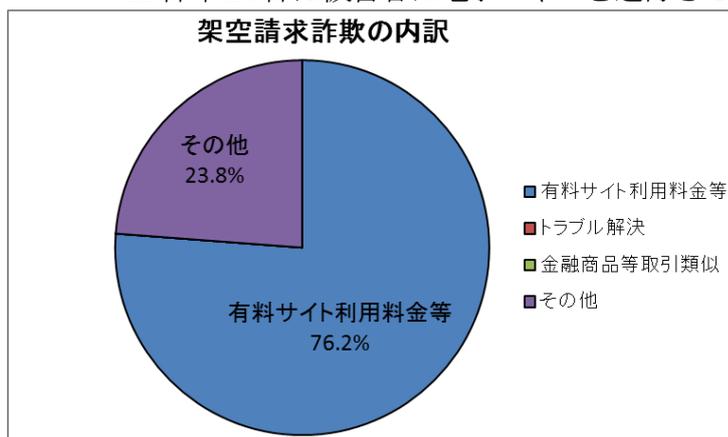
(1) オレオレ詐欺 (23 件中)

- 息子騙りが9件、孫騙りが6件、その他の親族騙りが4件、警察官等騙りが3件、その他が1件

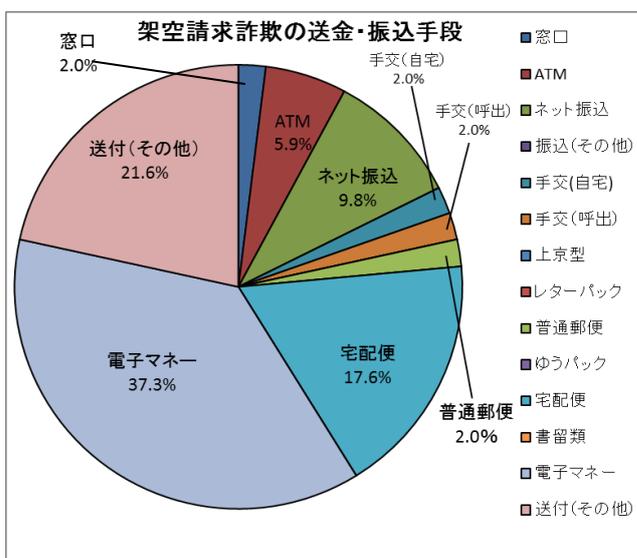


(2) 架空請求詐欺 (21 件中)

- 有料サイト利用料金等の名目が16件
21件中10件は被害者に電子マネーを送付させるもの



- 架空請求詐欺の詐取 (振込・送金等) 方法 (のべ51回中)



特殊詐欺被害多発に伴う緊急メッセージ

「もうだまされないぞ！特殊詐欺」 特殊詐欺撲滅三ない運動＋1(プラスワン) 「渡さない！」「払わない！」「電話に出ない！」「振り込ませない！」

長野県内では、今年に入り、息子や孫、警察官などをかたり、現金やキャッシュカードをだまし取るオレオレ詐欺や、突然メールやはがきを送りつけ、実際には使用していない有料サイトの料金名目などで支払を要求する架空請求詐欺を始めとする特殊詐欺被害が多発しています。

2月末現在の認知件数は28件、被害総額は既に約4千万円に達しており、昨年と比較して被害は大幅に増加し、極めて深刻な状況にあります。

県警察といたしましては、被害防止対策を強化し、特殊詐欺を撲滅するために、本日、「特殊詐欺被害多発に伴う緊急メッセージ」を発信いたします。

県民の皆様におかれましては、「もうだまされないぞ！特殊詐欺」を合言葉に、だまされないための三つの「ない」、

○ 「渡さない！」

電話で息子や孫、警察官などを名乗る者から、現金やキャッシュカードを要求されても、絶対に渡さない

○ 「払わない！」

突然、メールやはがきで料金を請求されても無視し、絶対に払わない
電子マネーでの支払いを要求されても絶対に番号を教えない

○ 「電話に出ない！」

犯人と話をしないため、自宅の電話を常に留守番電話に設定し、メッセージを残さない人の電話には出ない

の特殊詐欺撲滅三ない運動を一人一人が実践していただきますようお願いいたします。

また、特殊詐欺を撲滅するためには、もし、犯人からの電話やメールにだまされ、被害に遭いそうな人がいたら、金融機関やコンビニエンスストア等の事業者の皆様を始め、地域全体で声をかけ、被害を未然に阻止することが重要です。

そこで、三ない運動プラスワンとして

○ 「振り込ませない！」

県民総ぐるみで声をかけ合い、被害を未然に防止する
を加えさせていただきました。

どうか県民の皆様におかれましては、家庭や職場、地域全体で、「特殊詐欺には絶対にだまされない」、「特殊詐欺を絶対に許さない」と声をかけ合い、特殊詐欺撲滅に向け、御協力をお願いします。

平成30年3月19日

長野県警察本部長 内藤 浩文